

令和 8 (2026) 年度 総合型選抜Ⅱ
芸術工学部 芸術工学科 未来構想デザインコース
実技

【注意事項】

1. 問題冊子は指示があるまで開かないこと。
2. 配付物は以下のとおりである。

・問題冊子	この表紙を含めて3枚
・制作意図用解答紙 (A4判、ピンク色のバインダー付き)	1枚
・描画用解答紙 (木炭紙判画用紙)	1枚
・下書き用紙 (A4判)	5枚
・ハイユニの鉛筆 (2H、H、HB、B、2B、4B)	6本
・ステッドラーの鉛筆 (2H、H、HB、B、2B、4B)	6本
・消しゴム	1個
・練り消しゴム	1個
・手動式鉛筆削り	1個
・カッターナイフ	1本
・画板 (カルトン)	1枚
・目玉クリップ	4個
・イーゼル	1台
・モチーフ台 (彫塑台)	1台
・角椅子	1台
・コンテナ (プラスチック製の箱)	1個
・スタンド付き鏡	1個
・描写対象物 (白い紙袋の中身)	1式
・番号シール (茶封筒の中身)	1枚
・クリアーホルダー (A4判、受験票収納用)	1枚

3. 「解答はじめ」の合図で上記の配付物を確認し、過不足があれば挙手すること。
4. 「解答はじめ」の合図の後、制作意図用解答紙に受験番号を記入すること。
5. 試験終了時刻までに、描画用解答紙の裏面の右下に番号シールを貼ること。
構図を確認した上で、描画用解答紙の上下が逆にならないよう注意して貼ること。
6. 試験中に使用できるのは、計時機能だけの時計、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー (袋の中身のみ)、目薬 および 配付物のみである。その他の持参した用具は使用しないこと。
7. 試験終了後に監督の指示に従い、答案の提出準備を行うこと。
8. 問題冊子および下書き用紙など配付物はいっさい持ち帰らないこと。

令和8（2026）年度 総合型選抜Ⅱ
芸術工学部 芸術工学科 未来構想デザインコース
実技

問題1 【鉛筆素描】

任意のタイトルとテーマを設定し、1. スタンド付き鏡、2. 鏡に映った自分の顔、3. 描写対象物の3つを構成し、描画用解答紙におさまるように描きなさい。ただし、下記の条件に従うこと。

■条件

- ・描画用解答紙は、長辺が縦になるように使用すること。
- ・描写対象物は、白い紙袋から取り出して使用すること。
描写対象物は、折ったり、曲げたり、凹ませたりするなど、変形させてよい。
- ・背景などは作画してよい。
- ・下書き用紙は自由に使用してよい（記入した内容は採点の対象とはならない）。
- ・イーゼル、モチーフ台、角椅子、コンテナ、スタンド付き鏡の位置や高さは他の受験者の迷惑にならない範囲で自由に調整してよい（イーゼルとモチーフ台は高さ調整が可能。鏡は角度調整が可能。左利きの人はモチーフ台の位置をイーゼルの右側に移動してよい）。
- ・自分の描画用解答紙を眺めるために、立ち上がって椅子から離れてよい。
- ・鉛筆の削りカスや消しゴムのカスなどのゴミは白い紙袋に入れてよい。

問題2 【制作意図の記述】

あなたが設定したタイトル（20字以内）とテーマ（200字以内）を制作意図用解答紙に記述しなさい。

令和8（2026）年度 総合型選抜Ⅱ
芸術工学部 芸術工学科 未来構想デザインコース
実技

【答案の提出方法】

※試験終了後、監督の指示に従って、下記を参照しながら提出準備を行うこと。



・イーゼル、モチーフ台、角椅子を元の位置に戻す。

・描画用解答紙を表向きにして、目玉クリップで4隅を画板に固定し、イーゼルの立て掛ける。

・下書き用紙、問題冊子、制作意図用解答紙の順に重ねてモチーフ台の上に置く（制作意図用解答紙が最上面になるよう表向きに）。その上にスタンド付き鏡を寝かせておく（スタンドを畳んで鏡面が下向きになるように）。

・鉛筆、消しゴム、練り消しゴム、手動式鉛筆削り、カッターナイフ、描写対象物、白い紙袋、茶封筒、クリアーホルダーをコンテナの中に入れてモチーフ台の手前の床におく。

※ 上の写真のような状態にすること。

下書き用紙